

学校・家庭・地域で…

同じ価値観を共有する

-弱い心を射貫く5本の矢-

校訓「敬天愛人」が策定されました。

校訓とは、目指す児童の人間像を端的に表したものです。

敬天愛人…「天を敬い人を愛する」と読みます。

簡単に言えば、「世のため人のためにこそ学ぶという人間像」です。

人は、誰も一人では生きていけません。

ましてやりたいいけない子どもたちです。毎日、いろんな方のお世話なしで生きてはいけません。

だからこそ、いつかは、世の中や人のためにお返しのできるような人に育ててほしい!…そういう願いを込めた校訓です。

自分のことだけしか考えない人。自分の権利だけを主張する人。理不尽な要求を、お店、役所、病院、時には学校まで突きつけるクレマー。

かつての日本ではなかったことです。

また、目を覆うような悲惨な家庭内事件も後を絶ちません。そういった少し息苦しい世の中だからこそ、今、大切な教えだと思ふのです。



お花見給食 中庭にて

敬天愛人…とても崇高な教えです。しかし、この校訓を策定しただけでは、絵に描いた餅でしかありません。この高い境地に到達するには、己の

弱い心に克たなければならないからです。

論語にも謳われています。己に克ちて礼に復るを仁となす。要は、心の戒めが必要なのです。

弱い心・なまけ心・くじけそうな心を射貫く5本の矢。それが「月田っ子宣言」です。

- 一、人をいたわります。
- 一、丁寧さを身につけます。
- 一、卑怯な振る舞いはしません。
- 一、ふるさとを愛し、年上の人を敬います。
- 一、夢に向かって努力し、少々のことではへこたれません。

今年度より、毎朝子どもたちは、朝の会で唱えています。私は、「月田っ子宣言」を学校だけのものにしたいはありません。

「月田っ子宣言」を、家庭の茶の間のどこかに貼って、その時々に応じ、我が子の家庭教育に役立てていただきたいのです。

例えば、「勉強なんか、どうしてするん?」とばかりやぐらば、校訓「敬天愛人」の意味を語ってやってください。

もし、だらしない言動であれば、「学校で毎朝、『丁寧さを身につけます。』と言っているでしょ。今の言い方は、丁寧と言えるの?」と諭してやってほしいのです。

このように学校と家庭が、同じ価値観を共有するのです。

上記のようなことを、4/21(金)月田奨学会の総会で提案させていただきました。

無論、熱心で賢い保護者の皆さんばかりです。力強い賛同の拍手をいただきました。

さらに、私は、この価値観を月田の地域にも広げ、共有していただきたいと思っております。

幸い月田小の校長は、月田公民館長兼務であります。いろんな場で、お伝えし理解していただきたいと考えております。

もし、学校・家庭・地域が、同じ価値観を共有

できるとするならば、こんなに素晴らしいことはありません。

また、子どもたちが卒業した後も「月田っ子宣言」が、子どもたちの背中を後押しするものと、私は確信しています。

どんな子でも、将来、心が折れそうになることが必ずやあるものです。そんな時、月田小の卒業生は、次のようなことを思い出すはずで

「夢に向かって努力し、少々のことではへこたれませんが、小学生の時、毎朝言っていたなあ…。今の自分は、夢に向かって努力しているのだろうか。今、辛いからと言って、へこたれそうになってはいないだろうか…。

このように、心と昔のことを思い出すだけで、「月田っ子宣言」が、子どもたちの背中を押し、人生における成功者の道を歩む心の支えになるものと思うのです。

月田小は、山の中の小さな学校です。

でも、この提案は、月田発の、まさに日本の教育再生に向けた発信だと、お調子者の私はそう思っています。(笑)

学級通信からの発信

各教室で、「月田っ子宣言」を唱える声が職員室にも届いてきます。2年生の学級通信『8人8色』から、そのあたりのことを以下紹介しましょう。

今年度に入って、「月田っ子宣言」を教室前に掲示し、目指す子ども像として、毎日朝の会で唱えています。最初は、「卑怯」「振る舞い」等の言葉(漢字)が読めず苦労しましたが、最近では、それぞれに読むことができるようになり、日直の人が言った後に続いて、大きな声でみんなも復唱することができています。

ノートの字が汚くなっている人には、「丁寧に取り組みます。」「もうできん。」と言っている人には、「諦めずに取り組みます。」と子どもたちの注意し合う言葉の中にも、「月田っ子宣言」が使われています。唱えることから、頭の中にインプットされ、それぞれの行動の中にも活かされていくといいなあと、思っています。素直に何事も頑張ることのできる7名です。【文責・安田 京幸】

平成 29 年度月田奨学会役員

4/21日(金)、月田奨学会総会にて、新役員さんが決まりました。役員さん方には、何かとお世話になります。よろしくお願いいたします。

会長	影山知幸	学年委員長	曾我佐知子
副会長	坂口裕一	〃副委員長	森 亜矢
〃	兵江美保	(母親委員)	
〃	小林幸雄	〃副委員長	兵江美保
書記	杉山 昇	〃副委員長	槇野 都
会計	曾我部真也	監査委員	森木 励一
部落委員長	宮島哲也	〃	宮本祐樹
〃副委員長	山本孝行	〃	中芝 八郎
補導委員長	植本昭夫	補導副委員長	堀 勝則

<平成 29 年度・月田奨学会目標>

◎ 家庭と地域で心豊かな子どもを育てよう



避難訓練の様子 4月19日

5月の行事予定

- 2日(月) 春の遠足(バス)
- 9日(火) 市教委学校訪問/児童朝礼/わくわくタイム
- 10日(水) あいさつ運動/交通安全教室/集金日
- 11日(木) 銭太鼓練習(講師・谷口さん)
- 12日(金) 読み聞かせ/教育相談日
- 13日(土) 月田奨学会奉仕作業 16:00~
- 15日(月) ALT 16日(火) 運動会予行/5年田植え
- 18日(木) 尿検査1
- 19日(金) 運動会前日準備/尿検査2
- 19日(金) ~23日(火) 家庭学習強化週間
- 21日(日) 月田小・月田保育園春季大運動会
- 22日(月) 振替休日
- 23日(火) 児童朝礼/わくわくタイム/縦割り遊び
- 25日(木) 委員会 26日(金) 読み聞かせ
- 30日(火) 内科検診/月田奨学会・補導委員会 19:00
- 31日(水) 体力テスト